

第40回（令和2年度） 研究奨励助成一覧表

Code	研究・開発テーマ	代表研究者
20-1	環状高分子の全π共役系に立脚したトポロジカル材料の開発	北海道大学大学院工学研究院応用化学部門 准教授 山本拓矢
20-2	低級アルカン脱水素反応に有効な典型金属導入ゼオライト触媒の開発	北海道大学触媒科学研究所 特任講師 前野 禪
20-3	非チャンネル型ナノポーラス分子結晶による炭化水素誘導体の精密分離法の開発	東北大学大学院工学研究科バイオ工学専攻 准教授 諸橋直弥
20-4	太陽電池モジュール封止材の熱・光・酸素・水による複合劣化反応in-situモニタリング法および複合劣化反応モデルの開発	東北大学大学院環境科学研究科先端環境創成学専攻 助教 熊谷将吾
20-5	希土類酸化物の物性に着目したCO ₂ 水素化触媒の開拓	茨城大学大学院理工学研究科物質科学工学領域 助教 多田昌平
20-6	配位サイトを内孔に集積した大環状錯体を用いた精密重合反応の開発	筑波大学数理物質系化学域 助教 中村貴志
20-7	金属焼結多孔質体による自励振動ヒートパイプの熱輸送特性と始動安定性の向上	東京理科大学理工学部機械工学科 助教 黒瀬 築
20-8	高性能二次電池を実現する超濃厚電解液界面の機能性要因解明に向けた実験的/計算的アプローチ	東京工業大学物質理工学院材料系 助教 岩橋 崇
20-9	メタンCO ₂ 改質反応に対し高活性と長期安定性を両立したNi系ゼオライト触媒の開発	東京工業大学物質理工学院応用化学系 助教 藤 埴 大 裕
20-10	炭素クラスターの金属錯体ドーピング法を用いた単分子電気伝導材料の開発	東京工業大学科学技術創成研究院化学生命科学研究所 助教 田中裕也
20-11	究極の自立型水素エネルギーシステムのための一体化再生型燃料電池の酸素極の開発	横浜国立大学大学院工学研究院機能の創生部門 准教授 松澤幸一
20-12	リスクトレードオフに基づくエネルギーキャリアパイプラインのフィジカルリスク評価	横浜国立大学先端科学高等研究院 特任教員 助教 中山 穰
20-13	硫化物触媒も格子Sイオン種による新規なレドックス型脱水素プロセスの開拓	静岡大学学術院工学領域化学バイオ工学系列 准教授 渡部 綾
20-14	水素移動型カップリングによるメタンのC ₂ 、C ₃ 炭化水素への変換	名古屋大学大学院工学研究科有機・高分子化学専攻 助教 中野 遼
20-15	硫黄の脱離を分子設計の鍵とするn型有機半導体の可溶性前駆体の開発と有機薄膜太陽電池への応用	名古屋大学大学院工学研究科有機・高分子化学専攻 助教 福井 識 人
20-16	人工シデロフォアによる微生物燃料電池のための高機能電極の開発	名古屋工業大学大学院工学研究科工学専攻 准教授 猪股智彦
20-17	ジグザク型カーボンナノチューブのボトムアップ型選択合成	京都大学大学院理学研究科化学専攻 助教 田中 隆 行
20-18	色素増感太陽電池の高性能化を指向した典型元素含有ポルフィリン増感色素の開発	京都大学大学院工学研究科分子工学専攻 助教 東野 智 洋

(注) 代表研究者の大学及び職名は助成金受賞時のもの。

第40回（令和2年度） 研究奨励助成一覧表

Code	研究・開発テーマ	代表研究者
20-19	「5回ひねりメビウス」と「ペンタフォイルノット」トポロジーを併せ持つ炭素ナノ構造体の合成	大阪大学大学院工学研究科応用化学専攻 准教授 雨夜 徹
20-20	新規水溶性二次元高分子材料を用いた高効率太陽エネルギー変換に関する研究	大阪大学高等共創研究院産業科学研究所 准教授 小坂田 泰子
20-21	革新的典型元素触媒の創成を鍵とする粗水素からの直接的な水素貯蔵	大阪大学大学院工学研究科応用化学専攻 准教授 星本 陽一
20-22	亀裂の直接表現に基づく岩盤の熱-流体-応力-破砕-化学連成数値シミュレータの開発と地熱発電技術への適用	大阪大学大学院工学研究科地球総合工学専攻 助教 緒方 奨
20-23	多座σ電子受容性配位子を鍵とする有機アミン合成	大阪府立大学大学院理学系研究科分子化学専攻 准教授 亀尾 肇
20-24	配位高分子上の複数の触媒活性点の共働作用による芳香族炭化水素の水酸化反応	大阪市立大学複合先端研究機構 特任講師 田部 博康
20-25	電荷の非損失輸送能を有する全高分子ブレンド型プラスチック太陽電池の設計と機能実証	奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科物質創成科学領域 准教授 辨天 宏明
20-26	希少金属を用いずに二酸化炭素の光還元を実現する触媒設計	神戸大学大学院理学研究科化学専攻 准教授 松原 亮介
20-27	熱安定型分子マシンで駆動するゲルアクチュエーターの開発	広島大学大学院先進理工系科学研究科応用化学プログラム 助教 今任 景一
20-28	重水素化炭化水素源を供給可能な実践的重水素化反応の開発	九州大学大学院薬学研究院 助教 矢崎 亮
	研究助成金 (合計 28件)	3,470万円

(注) 代表研究者の大学及び職名は助成金受賞時のもの。